



Title	Development of the 12-item questionnaire for quantitative assessment of depressive mixed state (DMX-12)(Abstract_論文要旨)
Author(s)	Shinzato, Hotaka
Citation	Neuropsychiatric Disease and Treatment, 15: 1983-1991
Issue Date	2019-07-15
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/46666
Rights	© 2019 Shinzato et al. This work is published and licensed by Dove Medical Press Limited. The full terms of this license are available at https://www.dovepress.com/terms.php and incorporate the Creative Commons Attribution – Non Commercial (unported, v3.0) License


(別紙様式第3号)

論 文 要 旨

論 文 題 目

Development of the 12-item questionnaire for quantitative assessment of depressive mixed state (DMX-12)

(抑うつ性混合状態の定量評価に向けた12項目の自記式評価票の開発))

氏名 新里輔鷹 

論文要旨

【はじめに】

うつ病の症候は、一般的に、気分の低迷、思考の渋滞、活動性の減衰として定義されるが、実臨床では、気分・思考・行動が必ずしも一致せず、一部が亢進し他が抑制される「抑うつ性混合状態（depressive mixed state: DMX）」が散見される。その際、気分は不機嫌・焦燥を呈し、思考は攻撃・衝動性を孕み、行動面では自傷・自殺リスクが高まるため、速やかな臨床像把握と危機管理が肝要となる。本病態は、操作性診断基準のDSM-5において、特定子としての「混合性の特徴（mixed features: MF）」と定義されるが、混合成分には定型的な躁/軽躁症状のみを採用し、頻度の高い転導性、易怒性、焦燥を躁・うつ両病相に重複する非特異症状として除外したため、MFの診断頻度は数%に留まっている。一方、Benazziが提唱した「混合性うつ病（mixed depression: MD）」では、臨床上遭遇しやすい転導性、易怒性、焦燥を混合症状として取り入れたため、約1/3の患者がMDの基準に

論文要旨

該当したが、このように診断基準の違いで
DMXの頻度が大幅に変動する点が大きな問題
である。また、DMXを有する患者はその内面
の変化を自発的に言語化することが難しいた
め、DMXの過少診断や誤診にもつながりやす
い。そこで、我々は、DMX症候の定量評価に
基づく評価票の開発を行い、これらを用いて
DMXの頻度や重症度の実態の解明を行った。
【方法】
2014.6～2018.6にうつ病エピソードで当科を連
続受診した154名を対象とした。DMXの評価に
は、頻度の高い非特異的症候12項目からなる
自記式評価票(DMX-12)を作成して用いた。うつ
病重症度は Quick Inventory of Depressive Symptomatology Self-Report
Japanese version (QIDZ-SR-J)、生活機能は Global Assessment of
Functioning (GAF) で評価した。DMX-12の因子構造
を探索的に解析し、DMX総得点や下位項目に
与える背景因子の影響について重回帰分析を
行い、MDやMFの従来診断とDMX-12の総得点・
因子得点との関連をMann-Whitney U-testにて検討した。

論文要旨

【 結 果 】																				
探 索 的 因 子 分 析 に よ り 、 内 発 的 な 不 安 定 さ																				
(Cronbach's $\alpha = .868$) 、 脆 弱 な 応 答 性 (0.826) 、 破 壊 的 感 情																				
/ 行 動 (.769) か ら 成 る 3 因 子 構 造 が 抽 出 さ れ た 。																				
重 回 帰 分 析 に お い て は 、 DMX-12 の 総 得 点 や 各 因																				
子 得 点 は QIDZ-SR-J と 正 相 関 し 、 年 齢 と は 逆 相 関																				
し た 。 ま た 、 双 極 性 障 害 で は 、 DMX-12 の 総 得 点																				
と 破 壊 的 感 情 / 行 動 の 因 子 得 点 が 高 か っ た 。																				
154 名 中 28 名 が MD 、 7 名 が MF で あ っ た 。 MD 群 で																				
は DMX-12 の 総 得 点 と 全 下 位 項 目 の 得 点 が 有 意 に																				
高 く 、 MF 群 で は 破 壊 的 感 情 / 行 動 の 因 子 得 点																				
の み が 有 意 に 高 か っ た 。																				
【 結 論 】																				
DMX-12 に よ る 定 量 的 な 症 候 評 価 は 、 従 来 の MD																				
・ MF の カ テ ゴ リ カ ル 診 断 と も よ く 符 合 し た 。																				
今 回 の 結 果 よ り 、 双 極 性 を 秘 め る 重 度 う つ 病																				
エ ピ ソ ー ド の 若 年 患 者 で は 、 DMX の リ ス ク に																				
十 分 注 意 を 払 う べ き と 考 え ら れ た 。 破 壊 的 感																				
情 / 行 動 の 因 子 得 点 は 、 DMX を 識 別 す る 指 標																				
と し て 有 用 で あ る 可 能 性 が 示 唆 さ れ た 。																				